

昨今の、LinuxをはじめとするPC-UNIXの盛り上がりは著しく、それを生んだ背景文化であるオープンソースという考え方も広く浸透しつつあります。このオープンソース文化を一般により広く理解して頂くため、日本の各種オープンソースソフトウェアのコミュニティを一手に紹介する目的のイベントを行うことにしました。オープンソースの文化を支えている人達は、主にネットワークの中のコミュニティをつくりあげています。普段よりとてもアクティブに活動しているものの、通常の商業展示会などで見かけることは少ないので、一般の人々にとっては知名度がいま一つというのが現状のようです。そこでそのようなコミュニティの方々に無償でブースを提供し、展示発表してもらおうと考えたのがこのイベントの発端でした。初回ということもあり、全てのコミュニティを網羅するというわけにはいきませんでした。可能な限り多くのコミュニティの方々に声をかけ、そのほとんどからは好意的な反応をいただきました。このイベントを無事開催できたのも、御協力していただいたコミュニティの方々、またサポートしていただいた企業の方々のおかげです。当イベントは、日本のオープンソースソフトウェアの現状を一望できるだけでなく、実際にそのコミュニティで頑張っている方々に直接話を聞けるとても良い機会となっています。また参加コミュニティ同志のつながりを深める意味でも、非常に良い場になると予想しています。未だかつて日本ではこのようなイベントが行われた例はなく、その意味ではたいへん実験的な試みではあります。しかし、このイベントが日本のオープンソースコミュニティの発展に大きく貢献できれば、より面白い世界が日本のオープンソース文化に待っていると考えております。どうぞオープンソース文化にたっぷり触れて、楽しんで行って下さい。

日本UNIXユーザ会  
 日本Linux協会  
 ぷらっとホーム

ご挨拶 ..... 2

開催概要 ..... 4

全体スケジュール ..... 5

展示会場図 ..... 6

ステージプログラム ..... 8

セミナープログラム ..... 9

有料セミナー内容紹介 ..... 10

コミュニティ紹介 ..... 12

出展企業紹介 ..... 15

jus活動紹介 ..... 18

JLA活動紹介 ..... 19

名称： オープンソースまつり'99 in 秋葉原

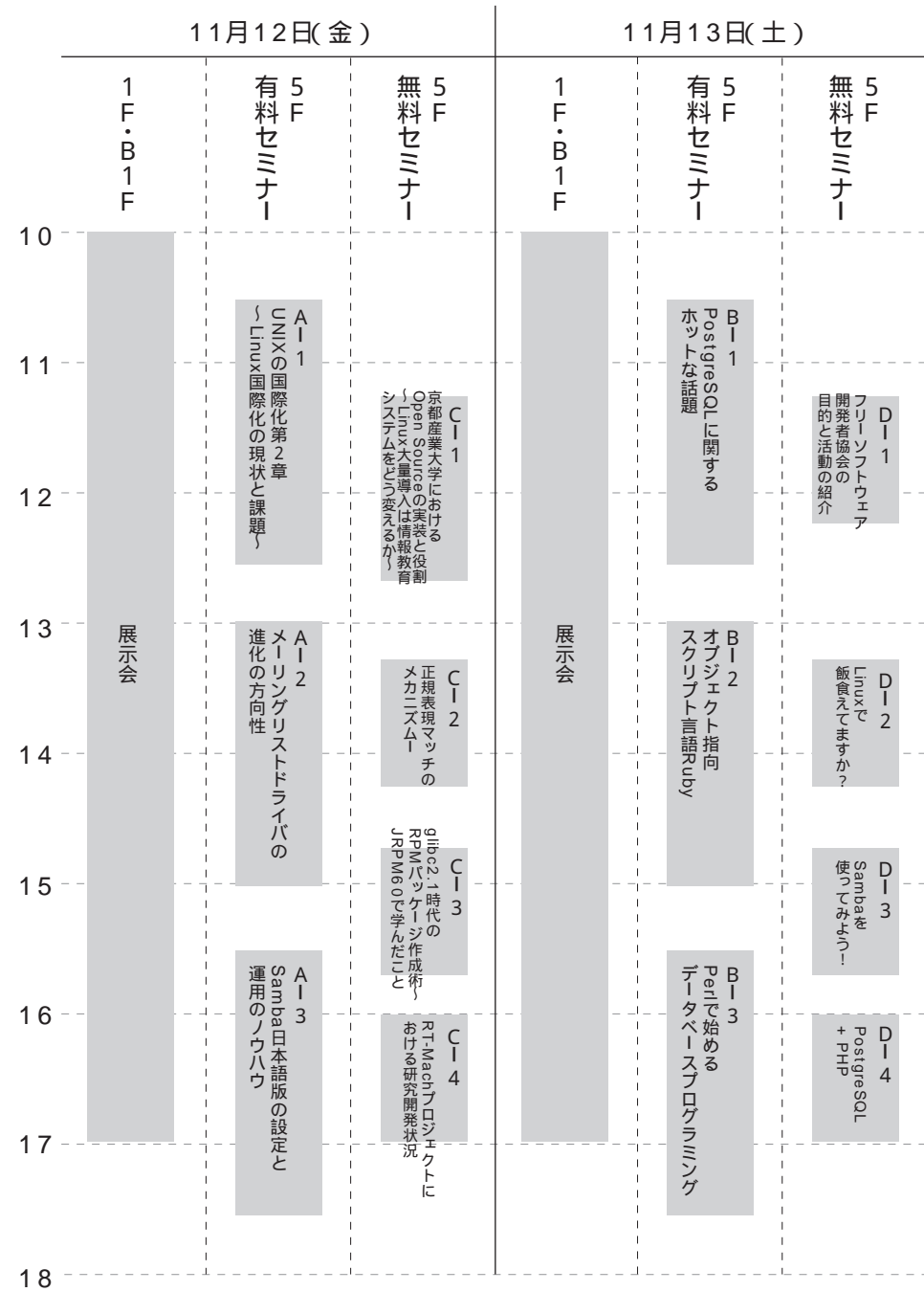
会期： 1999年11月12日(金)～13日(土)  
10:00～17:00

会場： ヒロセイイベントスペース  
(廣瀬本社ビル B1F・1F・5F)  
東京都千代田区外神田1-10-5

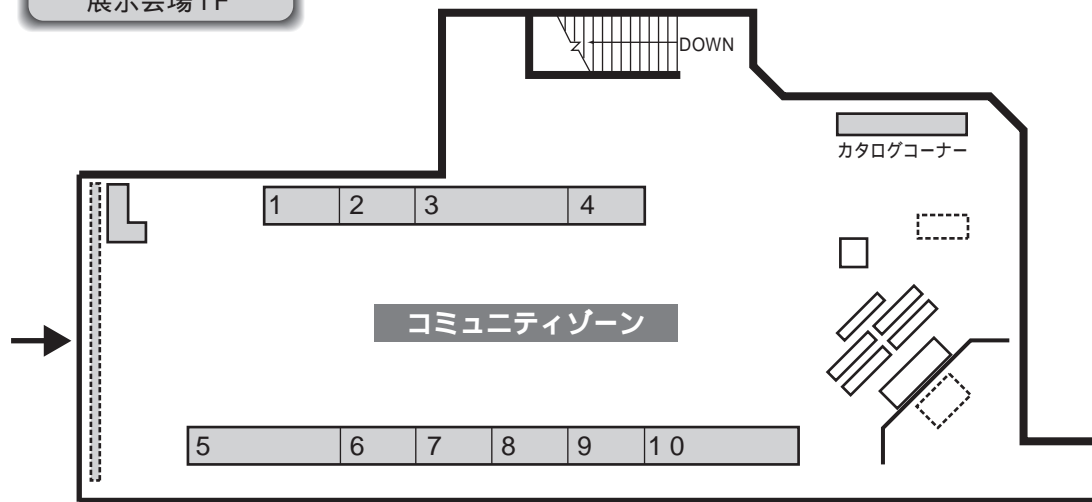
主催： 日本UNIXユーザ会、ぷらっとホーム株式会社、日本Linux協会

協賛： インテリジェント・テレコム株式会社、三菱電機株式会社、  
檜崎産業株式会社、ターボリナックス ジャパン株式会社、  
株式会社ビレッジセンター、日経BP社、  
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

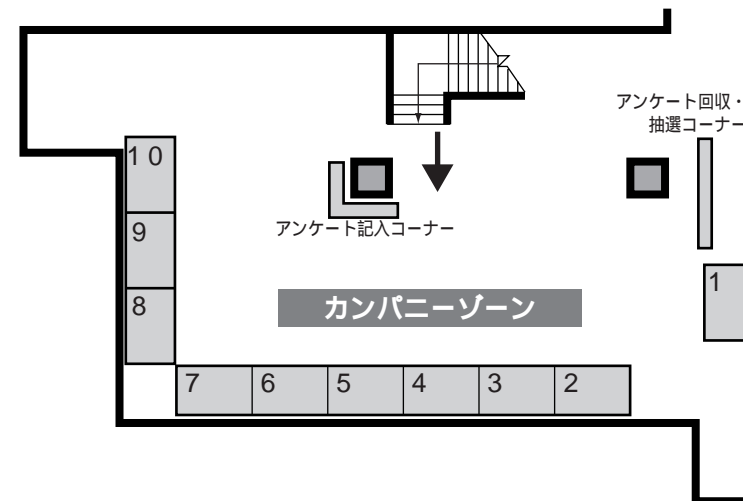
イベント構成： 展示会(会場 1F、B1F)  
セミナー(有料・無料)(会場 5F)



展示会場1F



展示会場B1F



- 1 日本UNIXユーザ会 (jus)
- 2 日本Linux協会 (JLA)
- 3 日本NetBSDユーザーグループ
- 4 FreeBSD友の会
- 5 日本Sambaユーザ会
- 6 RT-Machプロジェクト
- 7 Tokyo Perl Mongers
- 8 京都産業大学
- 9 ソースプログラム・アーカイブ・サイトSappy
- 10 日本PostgreSQLユーザー会

- 1 ぶらっとホーム (株)
- 2 三菱電機 (株) 檜崎産業 (株)
- 3 (株)五橋研究所
- 4 (株)毎日コミュニケーションズ
- 5 日経BP社
- 6 (株)アスキー
- 7 (株)オライリー・ジャパン
- 8 ソフトバンク パブリッシング (株)
- 9 (株)ビレッジセンター
- 10 日立ソフトウェアエンジニアリング (株)

11月12日(金)

- 11:00 日本UNIXユーザ会(jus)
- 11:30 ぷらっとホーム(株)
- 12:00 日本PostgreSQLユーザ会  
「PostgreSQL+PHPのデモ」
- 13:00 檜崎産業(株)/三菱電機(株)  
「三菱電機製UPSの紹介」
- 14:00 日本Sambaユーザ会  
「Sambaってなに?」Sambaと日本Sambaユーザ会の紹介  
濱野 賢一朗(日本Sambaユーザ会)
- 15:00 (株)アスキー
- 16:00 ソフトバンクパブリッシング(株)  
「雑誌媒体でのオープンソースの取り扱い」

11月13日(土)

- 11:00 日本UNIXユーザ会(jus)
- 14:00 Ladies' \*BSD Users Group  
「Ladies' \*BSD Users Groupの紹介」  
柴野 早織(Ladies' \*BSD Users Group)
- 15:00 ぷらっとホーム(株)
- 16:00 檜崎産業(株)/三菱電機(株)  
「三菱電機製UPSの紹介」

\* 上記以外のプログラムは、会場のプログラムボードをご覧ください。

## アンケートにこたえて、抽選でオープンソース関連グッズをゲットしよう!

### [ 賞品の一例 ]

TurboLinux PRO 日本語版 4.2 10本  
(ターボリナックスジャパン(株) 提供)

PS-104F 2台

HappyHackingKeyboard 3本  
(ぷらっとホーム(株) 提供)

その他オープンソース関連グッズ各種  
(Tシャツ、トレーナー、ソフトウェアCD-ROM)

\* アンケート用紙にご記入のうえ、地下1F抽選コーナーまでお持ち下さい。

## 有料セミナープログラム

参加料金 jus会員もしくはJLA会員 1,000円  
一般 3,000円

会場 5F セミナールーム大

	11月12日(金)	11月13日(土)
10:30 }	A-1 UNIXの国際化第2章 ~ Linus国際化の現状と課題 ~	B-1 PostgreSQLに関するホットな話題  日本PostgreSQLユーザ会 理事長 石井 達夫 日本PostgreSQLユーザ会 技術担当理事 片岡 裕生 日本PostgreSQLユーザ会 分科会担当理事 桑村 潤
12:30	コンバックコンピュータ株式会社 ソフトウェア製品開発部 末廣 陽一	
13:00 }	A-2 メーリングリストドライバの進化の方向性	B-2 オブジェクト指向スクリプト言語Ruby
15:00	トランス・コスモス(株)技術本部 安藤 一憲	(株)ネットワーク応用通信研究所 主任研究員 まつもと ゆきひろ
15:30 }	A-3 Samba日本語版の設定と運用のノウハウ	B-3 Perlで始めるデータベースプログラミング
17:30	太田 俊哉、小田切 耕司、佐藤 文優、高橋 基信 *セミナー終了後日本Sambaユーザ会の設立総会を行います。	(株)クレイフィッシュ/Tokyo Perl Mongers 小山 浩之

## 無料セミナープログラム

会場 5F セミナールーム小

	11月12日(金)	11月13日(土)
11:15 }	C-1 (11:15 ~ 12:45このセミナーのみ90分) 京都産業大学におけるOpen Sourceの実装と役割 ~ Linux 大量導入は情報教育システムをどう変えるか ~	D-1 フリーソフトウェア開発者協会の 目的と活動の紹介
12:15	京都産業大学計算機センター教育研究システム課長 坪内 伸夫	山本 茂
13:15 }	C-2 正規表現マッチのメカニズムー	D-2 Linuxで飯食ってますか?
14:15	(株)リコー・ソフトウェア研究所 前田 薫	Project BLUE 岡田 良太郎、宮原 徹
14:45 }	C-3 glibc 2.1時代のRPMパッケージ作成術 ~ JRP60で学んだこと	D-3 Sambaを使ってみよう! (日本Sambaユーザ会BOF)
15:45	Linux Japanese RPM Project 細野 英朋	日本Sambaユーザ会
16:00 }	C-4 RT-Machプロジェクトにおける 研究開発状況	D-4 PostgreSQL+PHP
17:00	慶應義塾大学 徳田 英幸	日本PostgreSQLユーザ会 近藤 直文、豊倉 圭

## UNIX の国際化第2章 ~ Linux 国際化の現状と課題 ~

コンパクトコンピュータ株式会社 ソフトウェア製品開発部 末廣 陽一  
 共立出版「国際化プログラミング ~ I18N ハンドブック ~」編著者の一人  
 今年9月、Linuxの国際化を推進するための国際的な組織 Linux Internationalization Initiative (略称 Li18nux) が設立され、活動を開始した。過去の商用UNIXの国際化を第1章とすれば、UNIX国際化の新たな第2章の始まりと考えることができる。  
 本セミナーでは、まずUNIX国際化プログラミングの基礎について説明した後、Li18nuxの説明を中心にLinux国際化の現状と課題について解説する。

## メーリングリストドライバの進化の方向性

トランス・コスモス(株)技術本部 安藤 一恵  
 メールユーザのすそ野が広がって来るにつれてメーリングリストドライバの利用も多様になり、要求される機能も増えてきている。本講演では現在メーリングリストが共通に抱えているであろう問題点について、いくつかのメーリングリストドライバでの対応を分析しつつ、sendmailの動向とあわせてこれからのメーリングリストドライバに要求されるであろう主要な基本機能の整理を行ない、自作でオープンソースのメーリングリストドライバ「Pigeon Post」について、製作のエピソードを交えてお話しする。

## Samba日本語版の設定と運用のノウハウ

太田 俊哉、小田切 耕司、佐藤 文優、高橋 基信  
 UNIX上で、Microsoft Windowsのファイル/プリンタサーバ機能を実現するSambaについて、ソースパッケージの入手方法から、展開、コンパイル、インストールまでの流れを簡単に解説し、その中で考慮すべきポイントや陥りやすい問題と対処方法を紹介する。設定は、WWWベースで行なう、日本語化されたSWATを使った方法も紹介する。  
 さらに、ファイル/プリンタ共有サーバとして使うために最低限必要な設定例を示し、Sambaの設定ファイルの書き方、単純な共有を作成するまでの手順(クライアントの設定、ユーザ登録、Sambaの設定、アクセス権の設定など)と注意点を紹介する。  
 応用編では、Samba を NT ドメインのクライアントにする方法や、Windows 95/98 のログオンサーバにする方法、リモートからのパスワード変更方法など、Sambaと Microsoftネットワークをよりシームレスに統合するための設定に付いて、それぞれ簡単に紹介する。  
 また、トラブルシューティングでは、メーリングリストで過去実際にあった質問を例にとり、初心者が陥りやすいミスとその解決策や切り分け方法を例をあげて解説する。

## PostgreSQLに関するホットな話題

日本PostgreSQLユーザー会 理事長 石井 達夫  
 日本PostgreSQLユーザー会 技術担当理事 片岡 裕生  
 日本PostgreSQLユーザー会 分科会担当理事 桑村 潤  
 PostgreSQLに関するホットな話題をPostgreSQLユーザー会のメンバがわかりやすく解説する。

- (1)2000年にリリース予定の7.0でサポートされるトランザクションログや外部キーなど、現在進行中の重要な機能の生々しい開発状況を報告する。
- (2)データベースのアクセス制御、Kerberos認証を含むPostgreSQLサーバへの認証、および、WebServerからのアクセス設定などのセキュリティに関して解説する。
- (3)PCからPostgreSQLをアクセス可能にするODBCドライバの使い方や、さらに、PostgreSQLの機能拡張の仕方について解説する。

## オブジェクト指向スクリプト言語Ruby

(株)ネットワーク応用通信研究所 主任研究員 まつもと ゆきひろ  
 日本発のオブジェクト指向スクリプト言語として注目を集めつつあるRubyの設計・開発者が、その特長、得意分野および設計思想などについて語る。今回は最近出版された書籍からの例題を中心に、実際にRubyをどう使うかという点や、「Rubyによる楽しいプログラミング」の実践のコツ、Ruby流オブジェクト指向設計などについても話題にする。また、「オープンソースソフトウェア」の開発にともなう体験談も語る予定。

## Perlで始めるデータベースプログラミング

(株)クレイフィッシュ/Tokyo Perl Mongers 小山 浩之  
 PerlのデータベースAPI"DBI"を用いたデータベースプログラミングについて応用例を踏まえながら解説。顧客データベースを元にした同報メールの送信やアンケートメールの直接格納といった身近な例から、デスクトップデータベースをリモートクエリ対応に拡張する構成の紹介まで。「インターネットのダクトテープ」として、オープンソースプロダクト同士や非オープンソースプロダクトに対しても柔軟な連携を実現するPerlの一機能を紹介する。

## RT-Machプロジェクト

RT-Machプロジェクトは慶應義塾大学を母体としてNTTを始めとする企業の研究者との産学共同で、RT-Machとその応用ソフトウェアを研究開発しています。RT-Machは、カーネギーメロン大学で開発されたMach3.0マイクロカーネルをベースにリアルタイム機能を追加し、資源予約やQOS保証機能を提供しています。また、OSパーソナリティとして4.4BSD Liteサーバを改良し、ライセンスフリーな4.4BSD UNIX開発環境を提供しています。最新リリースでは、FreeBSD2.2.8とのバイナリレベルでの互換性を保ちながら、RT-Machのリアルタイム機能を利用することができます。

<http://www.mkg.sfc.keio.ac.jp>  
[mkg-staff@mkg.sfc.keio.ac.jp](mailto:mkg-staff@mkg.sfc.keio.ac.jp)

## 京都産業大学

1999年4月。京都産業大学はLinuxと Windows NTをDual bootで利用する情報教育用コンピュータを大量に導入しました。この導入に至る大学の決断と目指したところをお伝えし、導入後の設備がきわめて安定し、高い稼働実績を持って利用されていることをOpen Sourceを育て支えてきた方々への感謝の意を込めてご報告します。教育研究機関にとってOpen Sourceはなくてはならないリソースです。これを大規模に採用することによって、高い教育効果を導き出せるとともに、研究分野においても仮想並列コンピュータとしての利用など多くの成果をあげつつあります。本学の発展を機に学術機関への大規模導入の事例としていただき、Open Sourceに注目していただけることには導入の参考としていただければ幸いです。

<http://www.kyoto-su.ac.jp/index-j.html>  
[keisanki-kyouiku-sys@star.kyoto-su.ac.jp](mailto:keisanki-kyouiku-sys@star.kyoto-su.ac.jp)

## ソースプログラム・アーカイブ・サイトSappy

Sappyプロジェクトの目的は、定評あるオープンソース・ソフトウェアのソースプログラムを詳細に解析した結果を、ソフトウェア開発者に提供することにより、HTMLブラウザを用いたソースプログラムのブラウズ環境を実現することにある。既存のソフトウェア開発環境が提供するよりも、詳細な解析結果や豊富な検索機能を提供することにより、オープンソース・コミュニティにソフトウェア工学の立場から貢献することをめざしている。現実世界の旅行において、地図やガイドブックが必須であるように、Sappyと共に、奥深いオープンソースの世界を迷わずに旅して欲しい。

<http://www.aichi-pu.ac.jp/sappy/>  
[sappy@sapid.org](mailto:sappy@sapid.org)

## Tokyo Perl Mongers(東京Perlモンガーズ)

Perl Mongersは地域に根ざしたPerlユーザーズグループです。New Yorkから初まり、現在世界各地にPerl Mongersがあります。Perlのモジュールファイルを表わす「.pm」を都市名につけ、「NY.pm」、「Atlanta.pm」のように呼ぶことが多いようです。「Tokyo.pm」は日本で最初のPerlMongersです。活動目的は(他のPerl Mongersと同じく)、ローカルなPerlユーザーの交流と親睦、主な活動は2か月に1回程度の飲み会です。年に1～2回、jus(日本UNIXユーザ会)の勉強会で技術的な講義をしています。

<http://tokyo.pm.org/>  
[maeda@jus.or.jp](mailto:maeda@jus.or.jp)

## 日本Sambaユーザ会

Sambaは、UNIXおよびUNIX互換マシンをWindows NT互換のファイルサーバ/プリントサーバにするオープンソース・ソフトウェアです。

日本sambaユーザ会は、Samba-JP メーリングリストを母体としたユーザグループです。活動目的は、Sambaに関する研究開発や普及、ユーザ間の交流と親睦で、そのために、メーリングリストやWWWによる議論や情報発信、種々のイベントなどでの講習会や研究会などを行なう予定です。

<http://samba.bento.ad.jp/> (暫定)  
 入会関係お問い合わせ:小田切 耕司(odagiri@icc.melco.co.jp)  
 報道関係お問い合わせ:宮原 徹(tmiyahar@blue.gr.jp)

## 日本NetBSDユーザーグループ (Japan NetBSD Users' Group, JNUG)

日本NetBSDユーザーグループは、NetBSD及びその周辺の事柄に関し、紹介、検討、議論、開発等を行ない、日本を始め世界のNetBSD利用者及び開発者に貢献することを目的として設立されました。現在は以下の活動の他、活動母体として使用しているJP.NetBSD.ORGの管理運営を行なっています。

- ・NetBSDを作り上げるための国際的なグループであるThe NetBSD Project の成果を主に日本向けに提供する。
- ・日本でのNetBSDに対する成果を、The NetBSD Projectに提供することを積極的に促す。
- ・NetBSD利用者及び開発者相互の交流、情報交換を図る。

<http://www.JP.NetBSD.ORG/committee@JP.NetBSD.ORG>

## 日本PostgreSQLユーザー会

PostgreSQLは、LinuxやFreeBSDなどの各種UNIX系OS上で稼働するフリーのデータベースです。PostgreSQLは無償で利用でき、しかも完全なソースコードが公開されており、本格的な業務利用にも十分耐えることができます。日本PostgreSQLユーザー会は、PostgreSQLの日本での普及と発展を目的に、この7月に設立された中立、非営利の新しいユーザ団体です。本格的な対外活動はオープンソースまつりがはじめてですが、今後はドキュメントの翻訳、地区会、各種分科会の設立などの活動を予定しています。

<http://www.jp.postgresql.org/staff@jp.postgresql.org>

## FreeWnn Project (今回のオープンソースまつり'99には参加していません。)

FreeWnn(フリーうんぬ)は、各種UNIX系のOS上で稼働するフリーのInput Methodで、日本語・中国語・韓国語といった複数の言語に対応しています。Wnnは1987年にフリーソフトウェアとして誕生したものでしたが、1995年に商用のものもできた結果、商用版とフリー版の両方が使われてきました。1999年になって、そのうちのフリー版をGPLとしたのがFreeWnnで、開発拠点が、FreeWnn Projectというユーザー主体の新しい団体に移りました。今後、FreeWnn Projectでは、新しい機能を追加したバージョンのリリース、ドキュメント整備、技術分科会などの活動を予定しています。

<http://www.freewnn.org/admin@freewnn.org>



## FreeBSD友の会

FreeBSDは、Intel社の386、Pentiumファミリに加え、その互換CPU、DEC社(現コンパック社)のAlphaといった各CPUアーキテクチャに基づくコンピュータシステム用として、現在求めうる最高水準のオペレーティングシステムです。FreeBSDのソースコードは広く提供され、世界中のハッカーによって開発、メンテナンスされています。さらに詳しいことはFreeBSDのWebで読むことができます。FreeBSD友の会は、主に、日本国内のユーザーが集まりjp.Free.orgにおける各メーリングリストや、www.jp.FreeBSD.orgなどのサーバー運用している任意団体です。

<http://www.jp.FreeBSD.org/tomonokai/tomonokai@jp.FreeBSD.org>

## Linux Japanese RPM Project

Linux Japanese RPM Projectは、Red Hat Linuxをはじめ多くのLinuxディストリビューションで使用されているRPM形式のパッケージの作成及び収集を行うプロジェクトです。メーリングリスト(package@linux.or.jp)で連絡をとりながら活動しており、出来るだけ多くのパッケージを作成・収集するようにしています。最近ではglibc 2.1ベースのディストリビューションRed Hat Linux 6.0の登場を受けて、対応するパッケージ集としてJRPM60を公開し始めていますが、基本的には出来るだけ多くのディストリビューションで利用可能なパッケージ集を目指しています。

<http://www.linux.or.jp/jrpm/hidden@tomo.gr.jp>

## Ladies' BSD Users Group (女性 BSDユーザー友の会)

"Ladies' BSD Users Group(レディーススターBSDユーザーズグループ)は女性BSDユーザーの会で愛称はL BUG(えるばぐ)です。BSD系のOSを使っている女性、あるいは使っていないけれどBSD系のOSに興味を持っている女性が集まって、楽しく話ができる場所となるようにと作られました。女性BSDユーザーはまだまだ少ないようです。そんな少数派の女性BSDユーザーですが、私たちの手でBSDをもっと身近なものにできたらいいなと願っています。女性だけでなく厳しい条件をクリアした男性の参加もOKです。

<http://www.openbsd.ics.nara-wu.ad.jp/lbug/ladies-request@star-bsd.ics.nara-wu.ac.jp>

## 株式会社アスキー

UNIX、Linuxの入門書からソースコード解説書まで、GNU、UNIX、Linux、BSD、TeXの関連書籍および最新情報満載の「Linux magazine」、「BSD magazine」の定期誌について展示と販売を行います。また、日本人が開発したプログラミング言語Rubyを紹介した最新刊「オブジェクト指向スクリプト言語Ruby」の販売も行います。

<http://www.ascii.co.jp/you-y@ascii.co.jp>

## 株式会社オライリー・ジャパン

アニマル本で有名なオライリー・ジャパンのブースでは、話題の最新刊「Qtプログラミング入門」をはじめ、オープンソースプロダクトを理解する上で必要となる、実用書籍を展示・販売します。今回は「まつり」ということで、オライリーブースで書籍をお買い上げの方すべてに オープンソースマウスパッドをプレゼントします。 また、金額に応じてバッグやT-シャツもプレゼント。オライリーは初期の頃から、オープンソースによって開発されたプロダクトに関して、数多くの書籍を出版してきました。これからも、オープンソースによる開発や、そこに息づくカルチャーを大切にし、ユーザの皆さんにとって必要な情報を発信していくことでこのムーブメントをサポートしていきたいと考えます。

<http://www.oreilly.co.jp/japan@oreilly.co.jp>

## 株式会社五橋研究所

UNIX、輸入ゲームを中心としたCD-ROM SHOP「LASER5」に始まり、現在では、月刊誌「Linux Japan」を筆頭にLinuxの関連書籍ならびに、UNIX関連OSパッケージ等を製作販売しています。初心者にも理解できる、使えるUNIX商品の開発を目指し、日々既存の概念にとらわれず、顧客ニーズの満足と、ユニークな製品作りを全社あげて取り組んでいます。

<http://www.cdrom.co.jp>

## ソフトバンクパブリッシング株式会社

ソフトバンクパブリッシング(株)はさまざまなオープンソースプロダクトを応援しています。PC-UNIXに関する情報を詳しく伝える『UNIX USER』,さまざまなプログラミング技術情報を紹介する『C MAGAZINE』の二誌で積極的に展開を図っております。第1日目は皆さまの率直なご意見を承りたいため、当ブース内においてC MAGAZINEの編集スタッフが常駐し、弊社へのアンケートを実施しています。このアンケートにお答えいただいた方には、抽選でC MAGAZINEを1年分プレゼントさせていただきます。ぜひ、みなさまにお立ち寄りいただき、オープンソースに関してさまざまなご意見やご要望を弊社までいただければ幸いです。

<http://www.zdnet.co.jp/cmaga@softbank.co.jp>

ターボリナックス ジャパン株式会社

ハイパフォーマンス リナックスで業界をリードするターボリナックス ジャパン株式会社は、1995年に日本市場に最初に参入したLinux開発販売会社です。主力製品である「TurboLinux」は、世界で200万本以上配布されています。また、ターボリナックス社は環太平洋地域で圧倒的なシェアをほこるLinux配布元でもあり、そのシェアは50%を上回っています。TurboLinuxは日本で最も急速に成長しているLinuxオペレーティング・システムとして評価を受け、1998年には日経バイト誌より「エディタース・チョイス賞」を受賞しました。サポート・教育分野にも力を入れており、これからも皆様に満足していただけるハイパフォーマンス製品を発表してまいります。

http://www.turbolinux.co.jp/  
info@turbolinux.co.jp 製品 sales@turbolinux.co.jp

檜崎産業株式会社

当社は技術系を主力とした商社として幅広く高付加価値製品をご提供しており、そのひとつとして三菱電機の1次代理店として情報通信システムやディスプレイをはじめとした各種の周辺機器等の販売を行って参りました。近年では、三菱電機製Linux,FreeBSD対応無停電電源装置(UPS)の販売にいち早く取り組み、Linuxをはじめとしたオープンソース環境に積極的にビジネス展開しております。日本Linux協会設立時より法人会員としても参加しており、今後もLinux関連製品を中心とした独自性及び付加価値の高いプロダクトのご提供を継続して参ります。

http://www.narasaki.co.jp  
nakamotokn@narasaki.co.jp

日経BP社

オープンソースOSであるLinuxはここ1年の間に急速に普及してきました。近い将来、LinuxがNTと併存して情報システム構築に使われることは明らかです。9月8日に創刊した「日経Linux」は最新動向を報じるとともに、クライアントPCとしての活用や各種サーバー・システム構築に不可欠なテクニックやノウハウなどの実用情報を提供。小規模システムから、本格的な企業システムへの適用情報まで盛り込み、個人の先進ユーザー、企業ユーザー、ソフトウェア技術者、ベンダーなどの幅広いニーズに応えています。これから始める人も、すでに活用している人も満足できるように、掘り下げた内容でありながら、読みやすい記事を毎月お届けしています。

http://linux.nikkeibp.co.jp/  
omata@nikkeibp.co.jp

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

日立ソフトは、Linuxをプラットフォームとする信頼性の高いインターネット/イントラネットサーバをご提供するソリューションサービスと、障害時の対応などのサポートサービスをご用意しております。ソリューションサービスでは、お客様がご使用する環境に合わせた機能のインストール・設定を行う他、ご要望に応じてLinux対応の流通ソフトのインストールも行います。

サポートサービスでは、運用時のご質問などを受け付けるヘルプデスクサービス、サーバを自動監視し、障害時に通報する監視サービス、パッチなどを定期的に適用するメンテナンスサービスを御用意しております。

http://www.hitachi-sk.co.jp  
masaki@kam.hitachi-sk.co.jp

株式会社ビレッジセンター

GNUの精神に賛同し、「VZ Editor」へのソースコード添付など、オープンソースソフトウェアコミュニティに世界的見地から寄与することを目指しているビレッジセンターの心意気を表現したいと思います。X-Windowシステムで動作するテキスト統合環境「XZ EDITOR」の展示、GNU/Linuxの神髄を伝える中村正三郎新刊「特選星降る夜のパソコン情話～Linux狂騒曲」の展示販売、さらにはTシャツなどGNU関連グッズの展示即売、募金をおこなう予定です。当然ながら、小社は皆様とFSFの橋渡しとなり、グッズの売上、寄付はすべてRストールマン氏に渡します。コンピュータの夢とロマンをオープンソースソフトウェアに託しましょう。

http://lwww.villagecenter.co.jp/  
fkanda@villagecenter.co.jp

ぶらっとホーム株式会社

ぶらっとホームは国内最多の稼働実績(総出荷台数7,000台)を持つPC-UNIXサーバベンダーです。UNIX関連製品を中心にプライベートブランド製品、オリジナル製品(ソフト/ハード)、輸入製品、サービスの提供をしています。市場に無いものは作る、という方針のもと、様々なユーザーニーズに適した環境を当社がご提案します。また、秋葉原に、PC関連パーツ、Unix、ネットワークを中心としたソフトウェア、ハードウェアの店舗を営業しています。秋葉原の名物おやじこと、当社社長の本多は今も現役です。

http://www.plathome.co.jp  
info@plathome.co.jp

株式会社毎日コミュニケーションズ

1973年、毎日新聞社の関連会社として設立。出版・美術・就職情報事業開始。1990年「ザ1・2・3マガジン」の創刊以来、Mac Fan、PC Fanなどの各種PC雑誌、ゲーム雑誌、書籍、Webマガジンなどを出版している。

http://www.pc.mycom.co.jp  
book3@pc.mycom.co.jp

三菱電機株式会社

当社は小容量UPS「FREQUUPS」シリーズから新発売したFシリーズ、並びに当社ホームページでオープンソースのソフトウェアとして公開中の「FREQUSHIP-mini for Linux/FreeBSD」を出展します。FシリーズはそのコンパクトでスタイリッシュなボディがPC-UNIXマシンのバックアップに最適です。また通信ケーブルを本体に付属している上、「FREQUUPS」ホームページからオープンソースのシャットダウンソフトウェアである「FREQUSHIP-mini for Linux/FreeBSD」をダウンロードできるので、UPSのみ購入すればすぐにご使用の愛機を電源トラブルから守る事ができます。当社は業界で初めてUPS用のユーティリティをオープンソースで公開、また当社UPSとの通信プロトコルの公開にも業界で初めて踏み切りました。「FREQUUPS」シリーズのオープンな使用環境をぜひご活用ください。なお当日は本格的な商用版UPS管理用ソフトウェアである「FREQUSHIP for Linux」も出展いたします。こちらもぜひご覧ください。

http://www.nagoya.melco.co.jp/FREQUUPS/  
frequps.ind@hq.melco.co.jp



日本UNIXユーザ会(Japan UNIX Society : 略称 jus)

日本UNIXユーザ会は、UNIX及びオープンシステムを中心とした計算機関連分野の技術/文化/産業の健全な育成を推進し、広く社会の発展に貢献することを目的に活動する非営利団体です。jusは日本におけるUNIX及びオープンシステムに関するユーザグループの草分け的存在であり、UNIXユーザを中心とする会員が様々な活動を行っています。UNIX技術は、ユーザ主導の議論によって開発されています。

ユーザの集まりであるjusの活動は、このようなUNIXの発展形態にも大きく貢献しています。

日本UNIXユーザ会は以下のような活動をしています。

- シンポジウム、コンファレンスなどのイベント
- 勉強会
- ワークショップ
- 研究会
- 機関誌
- ニュースレター
- ソフトウェアの配布
- 電子メールによる情報サービス
- WWWサーバの設置

日本UNIXユーザ会の会員種別

	個人会員	個人会員(学生)	法人会員	賛助会員
年会費	6,000円	3,500円	90,000円	40,000円(一口)
登録手数料	1,000円	1,000円	5,000円	5,000円
郵送手数料	3,500円	3,500円	会費に含む	会費に含む

会員特典

- ・ イベント参加料の割引—jusの主催するイベントに会員料金で参加できます。
- ・ 出展料の割引(法人会員のみ)—jus主催のイベントへの出展料の割引や優先出展制度があります。
- ・ 各種サービス料金の割引(法人会員のみ)—DMラベル提供などjus会員へのダイレクトメールサービスの料金が会員料金となります。
- ・ ソフトウェアの配布—ソフトウェアの配布を有償で受けることができます。法人・賛助会員は無償です(要申込)。
- ・ ニュースレターの発行—毎月発行し、電子メールでお送りします。
- ・ 機関誌の配布—郵送オプションを申し込んでいる方へは印刷媒体で、それ以外の方へは電子的に配布(WWW, ftpなど)しております。
- ・ その他—USENIXなど海外の関連団体と友好協定を結んでおり、jus会員は海外グループ主催のイベントにも会員価格で参加できます。

問い合わせ先:

日本UNIXユーザ会事務局  
 〒164-0004 東京都新宿区四谷3-12 丸正ビル5F  
 Fax: 03-3356-1094  
 E-mail: office@jus.or.jp URL: http://www.jus.or.jp/

日本Linux協会(Japan Linux Association : 略称 JLA)

日本Linux協会は、日本におけるLinuxの健全な発展に寄与し、Linux文化の普及・啓蒙活動を行うために、1999年4月1日に設立されました。日本Linux協会では、イベントやセミナー、部会活動などを通じて、個人開発者や個人利用者から企業ビジネスまで、日本国内に於ける包括的なLinux浸透を推進します。

日本Linux協会の部会活動としては、現在、下記のような活動を予定しています。なお、部会は今後の必要に応じて設置します。

- 情報サービス部会 http://www.linux.or.jp/を中心としたLinux関連の情報提供活動
- 技術調査部会 日本語化、最新開発への参画・貢献
- イベント・セミナー部会 各種イベント・セミナーの企画・運営によるLinuxの普及・啓蒙・教育
- ビジネス部会 Linuxのビジネスに関する普及・啓蒙活動
- インターネット・リソース管理部会 linux.or.jpのドメイン名などの管理

日本Linux協会の会員種別

	個人	学生	法人	賛助
議決権	あり	あり	あり	なし
年会費	6,000円	3,000円	60,000円(一口)	30,000円(一口)

加盟のあたったての入会金はありません。

会員特典

- Doc-CDの無料配布
- 会報の送付(オンライン)
- セミナー参加費などの会員割引
- その他

- ・ 個人会員は、個人として本協会に加盟し、協会の運営や各部会の活動に参加します。
- ・ 学生会員は、"Linuxの将来を担う人材の発掘と育成"のために学生の負担を軽減するということが設置されました。会費が個人会員の半額となりますが、他の権利は全て個人会員と同等です。学生の定義は、文部省令に定める学校、海外で認められている学校、および本協会が認める学校の在学生とします。
- ・ 法人会員は、法人として本協会に加盟し、協会の運営や各部会の活動に参加します。法人会員のみを対象としたメーリングリストも運営されています。
- ・ 賛助会員は、議決権の保有・行使は望まないが、本協会に対して積極的な援助を希望する法人・団体です。賛助会員には議決権はありません。
- ・ 法人会員・賛助会員は複数口での加盟が可能です。CD配布などの会員サービスでは、口数に比例した数量を受け取ることができます。また、法人会員の議決数は口数に比例するものとします。
- ・ この他に、プロジェクトやユーザーグループなどの団体およびLinuxの発展に寄与した個人を本協会に参加可能とするために特別会員制度があります。特別会員は議決権はありませんが、部会活動などは自由に行うことができます。また、会費は免除となります。

問い合わせ先

日本Linux協会事務局  
 〒162-0065 東京都新宿区住吉町2-14 四谷曙橋ビル8F  
 TEL: 03-5379-6277 FAX: 03-5379-5338  
 E-mail: sec@linux.or.jp URL: http://jla.linux.or.jp/